

第32回泌尿器科漢方研究会学術集会

代表幹事:堀江重郎(順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学)

日時:2015年6月20日(土) 13:00~18:05

会場:コクヨホール(東京都)

前立腺癌放射線治療・内分泌療法後の ED(勃起障害)に対する補中益気湯の効果

大阪医科大学 放射線治療科

○新保 大樹、吉岡 裕人、吉川 信彦
吉田 謙、上杉 康夫、鳴海 善文

【目的】補中益気湯は、10種類の生薬より構成されており、古来より、陰萎に効果があるとされる漢方薬として用いられている。前立腺癌に対する放射線治療後にはEDが高率で発症し、内分泌療法後には90%以上に発症する。今回、放射線治療および内分泌療法後に発症したEDが補中益気湯により改善するかを検討した。

【方法と対象】前立腺癌に対し放射線治療 (IMRT・LDR・HDR) 後にEDが出現した症例のうち、75歳以下で、PDE5阻害剤を希望しない15例に対して、補中益気湯を開始2ヶ月後にEDが改善するかを勃起機能問診票 IIEF5 と問診を用いて総合的に評価した。

【結果】平均年齢69.3 (65-75) 歳。放射線治療終了からの期間は中央値19 (7-39) ヶ月。13例 (86.7%) は内分泌療法を施行し、内分泌療法終了からの期間は中央値17 (7-39) ヶ月。開始前のIIEF5スコアは中央値6 (5-14) 点であった。有効例: IIEF5スコア、問診ともに改善は5例 (33.3%)、微効例: IIEF5スコア不変または微増で問診にて少し改善は5例 (33.3%)、無効例: いずれも不変は5例 (33.3%) であった。改善例のIIEF5スコアは中央値4点 (1-9) の上昇を認めた。有効例において年齢、放射線治療終了からの期間、内分泌療法終了からの期間、開始時のIIEF5スコア、開始時のPSA値を検討したがいずれも有意な改善因子ではなかった。

【結語】前立腺癌の放射線治療、内分泌療法後のEDに対し、補中益気湯の投与2ヶ月後の評価で有効例33.3%、微効例33.3%で、合計66.7%の症例に有用性が確認された。ただし効果は軽度であった。